

☆広報部が選ぶ理系、文系おすすめ本！

広報部理系が選ぶ理系のおすすめ本！

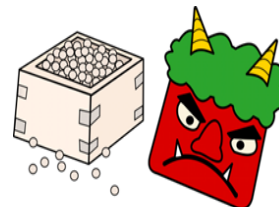


『身近にあふれる「科学」が3時間でわかる本』

佐巻 健男

身近に当たり前のようにあるけど、仕組みが分からない物ありませんか？また、身近な現象でどうして起こるのかわからないことはありませんか？

例えば、液晶画面、エアコン、電子レンジやICカードなど、皆さんが当然のように使っているのにどうなっているのかわからない者は多々あると思います。そういった物や現象の仕組みについて**詳細かつ分かりやすく説明しているのがこの本**です。



『ニセ科学を見抜くセンス』

佐巻 健男

数学が好きな理系の方には申し訳ないのですが、科学に関する本二冊目です☆
これは、実在しないにも関わらず世間に広まっている物について深く掘り下げている本です。こういった物には一見すると本物かのように見えてしまい見抜くことができない物が多くあります。それを防ぐために、この本ではそういったニセ科学の無根拠性を批判し、見抜く方法を教えてくれます。「これ本当なの？」と疑問を抱く者がある方必見の一冊です

新原先生のおすすめ本！

『疲れない体』 山田 知生

世界最高学府であり、また世界最強のスポーツ大学とも賞される「スタンフォード大学」。そんなスタンフォードスポーツ医局の最新回復知見を、初めて全網羅しまとめたのがこの本です。

◎ “マッチョ”でも疲れる。疲労は「筋肉」でなく「中枢神経」の問題だ

◎ 立つ・座る・歩く・持つ・・・日常の全ての動作を最もダメージ少なく行う術

◎ 疲れなくなければ「呼吸」を変えろ！ 等々…。この本を読んで、皆さんも是非「疲れない体」になりましょう！そうすれば、スポーツだけでなく、勉強でも“最強”になれるはず……。



ということで今回は私たち広報部の理系 M、文系 Y と GTS (Great Teacher Shinhara)が選んだ理系と文系におすすめの本を選びました！理系の皆さんはほとんど読まないと思いますので、まずここに紹介する本を読んでみて、本にはまってください。文系の皆さんはより本にはまって、図書委員になってください。GTS のおすすめ本も是非！

文系のおすすめ本！



『過ぎ去りし王国の城』

宮部みゆき

中学 3 年の尾垣真が拾った中世ヨーロッパの古城のデッサン。デッサンに分身を書き込むと絵の世界に入り込めることを知り、同級生の成田珠美に分身制作を依頼。

絵の世界にいたのは、塔に閉じ込められた一人の少女がいた。彼女は誰か。何故この世界は描かれたのか。

同じ探索者で大人のパクさんと謎を追う中、3人は 10 年前に現実に起きた失踪事件が関与していることを知り…。

宮部みゆき渾身の冒険小説！



『「西洋美術史」世界のビジネスエリートが身に着ける教養』 木村泰司

美術史は欧米人にとって必須の教養であり、世界のエリートの共通言語である。(はじめにより)

○なぜフランスが美術大国となったのか。

○キリスト教最大の教派「ローマ教会」が発展できたわけ等々…。

知っているようで知らない世界各国の歴史、事件、文化や価値観が「絵画」でわかる！

多数のセミナー講演で活躍する西洋美術史家の著者が描く世界美術史 2500 年を濃縮した「これは知っておきたい！」一冊

スペースが余ってしまったので図書館や図書委員関係について色々書かせていただこうと思います。

ただ今図書館では、選書ツアーの本の紹介や、「大学入試を通して社会を意識しよう」というかための企画をやっています。選書ツアーには自分も参加させていただきましたが、おもしろい本が多く入ったと思うので是非図書館に来て、手に取って見て下さい！

来年度図書委員に入りたい方のために、図書委員のお仕事も軽く紹介させていただきたいと思います。図書委員には広報、企画、総務部の三つの部署があります。どの部署も仕事は少なくありませんが、とても楽しくどの委員会よりも委員会してる委員会だと思います(笑)。総務部は図書館にまつわる多くの仕事をする部署です。多くの方がここに所属していますが、割と仕事が多いので、軽い気持ちで入ると面倒くさくてさぼりがちになり、呼び出しを受けることになります。

企画部は色々な事を企画する部署で、積極的に何かしたい！と思う人が入ります。企画しないと小林先生にせつかけます。

最後に広報部ですが、これ(図書の扉)を作ったり、月イチでPOPを作って飾りつけたりとやることが多いです。絵が上手い人が活躍できると思います。

五臓六腑に染み渡れ。